



発行：長田区医療介護サポートセンター  
神戸市長田区松野通1丁目2-1 長田区医師会内  
TEL：641-5661 FAX：641-5662

## 長田区医療介護サポートセンター平成31年度研修予定

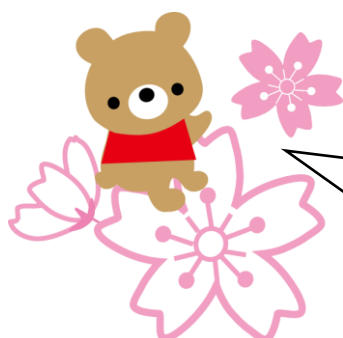
長田区医療介護サポートセンターの次年度の研修開催予定です。

(あくまでも予定の為、日程や内容が変更になる場合があります)

後日、サポートセンターよりお送りいたしますご案内文やサポートセンターのホームページ(<https://kobe-iks.net/>)にて詳細をお知らせいたします。

在宅医療の推進と医療・介護の多職種によるよりよい連携を目指して、様々な取り組みを行っていきたいと思っております。ぜひ平成31年度も研修にご参加ください！

予定日時	名称	開催予定内容	開催予定場所
5月30日(木) 14時~16時	ながサポクラブ	口腔機能低下症の 対応と連携方法について	ピルホール会議室 A
7月頃	ながサポクラブ	訪問診療の実際について	長田区役所
9月頃	ながサポクラブ	認知症に関する事例と 多職種連携について	長田区役所
9月頃	消防と多職の 連携研修	救急時の対応について	神戸市防災 コミュニティセンター
11月頃	長田区在宅医療塾	看取りの対応と 多職種の連携について	長田区役所
1月頃	ながサポクラブ	成年後見事例からみる医療 と介護の連携について	長田区役所
2月頃	長田区在宅医療塾	褥瘡と低栄養と その対応方法について	未定



上記の他に市民の皆様対象に10月頃、「長田区保健医療介護フォーラム」を開催する予定となっております。



# 長田区医療介護サポートセンター相談件数

○平成31年1月～2月実績 相談件数 12件

## 〈相談者種別〉

病院 3件 診療所 2件 薬局 1件  
あんしんすこやかセンター 1件 居宅介護支援事業所

## 〈相談内容〉

訪問診療・往診医の紹介 4件  
医療機関（病院・診療所等）の紹介 6件  
訪問看護について 1件 認知症について 1件  
その他医療資源について 1件

悩んだ時には  
お気軽にご相談  
ください！



## 長田区医療介護サポートセンターの取り組み

### 長田消防署と病院と多職種の 連携連絡会議



平成31年2月14日（木）  
14時～15時30分  
長田区医師会館

長田消防署・区内病院・地域の専門職 19名が出席し、下記の内容について協議しました。

#### 〈内容〉

- ①長田消防署より平成30年度救急出動状況について報告
- ②区内病院より救急対応状況や病院の特色について説明
- ③ゴールデンウィークの各病院や医師会、歯科医師会、薬剤師会対応について
- ④各専門職より

・救急搬送時の問題について検討（施設での夜間対応の問題など）

### 長田区在宅医療塾



平成31年2月28日（木）  
新長田勤労市民センター 大会議室  
参加者：45名

〈三師会・神戸市リハ職種地域支援協議会共催〉

#### 〈テーマ〉

不顕性誤嚥の対応と摂食嚥下障害における言語聴覚士の役割について

講演1 「不顕性誤嚥とその対応方法について」

講師 乗金耳鼻咽喉科医院 院長 中村 陽子 先生

講演2 「摂食嚥下障害患者へのSTの関わりについて～症例を通して～」

講師 言語聴覚士 岡本 香月 先生





在宅生活を継続する上で阻害因子となる誤嚥性肺炎や不顕性誤嚥について学び、実際に病院や在宅でSTの方のかかわりを知ることができ、今後の業務を行ううえでの連携や活用につながる内容でした。

【アンケートより】

講演1：とてもよかった 73%、よかった 27%、すこし難しかった・その他ともに 0%

講演2：とてもよかった 64%、よかった 36%、すこし難しかった・その他ともに 0%

\*私の担当している方も入院し、そのまま亡くなってしまった方の死因が、誤嚥性肺炎ということが何度かありました。在宅で暮らしているときから何か異変に気付くことができればと思っていたので勉強になりました。

\*むせのない利用者（と思っていた）が肺炎で入院され、家族に話を聞くと、むせは水分で時々ある。薬が後になって出てくるとか、私としては??という方でした。その仕組みが少しはわかったのかと思います。

\*私たち在宅での仕事は、利用者さんの異変に気付くことが大切な役割なので、まずは予防、異変に気付くということを考えてモニタリングに活かしていきたいです。

\*STさんの仕事についてよくわかり、症例を通して関わり方がよくわかりました。

## <医療・介護の情報掲示板>



### ※神戸市消防局からのお知らせ※

\*おくる電（神戸市病院送迎紹介コールセンター）について

「病院などに行きたいけれど、手立て（交通手段）に困っている」という方に、最寄のタクシー・介護タクシーを紹介するコールセンターです。

おくる電：050-3733-7555（自動応答電話システム）

詳細は同封のチラシをご参照ください。



## <サポートセンターより>

平成30年度の長田区医療介護サポートセンターの取り組みはいかがでしたでしょうか？

これからも在宅医療の推進、医療と介護の円滑な連携を目指して頑張っていきたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

ながサポ通信にこんな情報が欲しいなどありましたら、ぜひリクエストをお願いします！



# 薬剤師が行う居宅療養管理指導



## 居宅療養管理指導の流れ

- 1、医師から居宅療養管理指導の指示。
- 2、薬学的管理指導計画書の作成。
- 3、薬局にて処方箋を受け付けし(FAX の場合もあり)調剤。
- 4、居宅にて服薬指導、服薬管理等を行う。
- 5、医師、CM 等へ情報提供。



## 居宅療養管理指導の業務内容

長田区薬剤師会 理事  
はな薬局 神戸名倉店  
管理薬剤師 橋本 健司 氏

近年、徐々に介護の現場に薬剤師が訪れる事も増えてきており、周知されてきていることを喜ばしく思っております。

ここで、一部の業務内容を紹介させていただきます。

薬は、湿度、光に弱いなど様々な特徴があります。薬ごとの特徴に合わせた保管方法、剤形変更の提案を行います。

下記は、特別な保管方法が必要な医薬品の一例です。

**アダラート**→光に不安定、粉碎等行うと数時間で効果が無くなります。

提案例)嚥下困難等、粉碎が必要な場合は、多剤への変更、若しくは顆粒剤の提案。

**アスパラカリウム**→湿度に不安定、錠剤を取り出すと溶けます。

提案例)一包化を行わず、PTP 包装のまま分包紙にホッチキス止め。

分かりづらいですが、右の写真の様になります。



多々あるうちの2例だけですが、このように保管方法が決められているのがあります。

また、新しい医薬品の発売で飲み合わせが禁忌となっているものも増えてきております。

今後も患者様の QOL の改善等に貢献したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

問い合わせ先： 長田区薬剤師会 TEL:078-521-2355